

齋宮跡・久留倍官衙遺跡連携協定関連事業
シンポジウム 齋宮跡と久留倍官衙遺跡

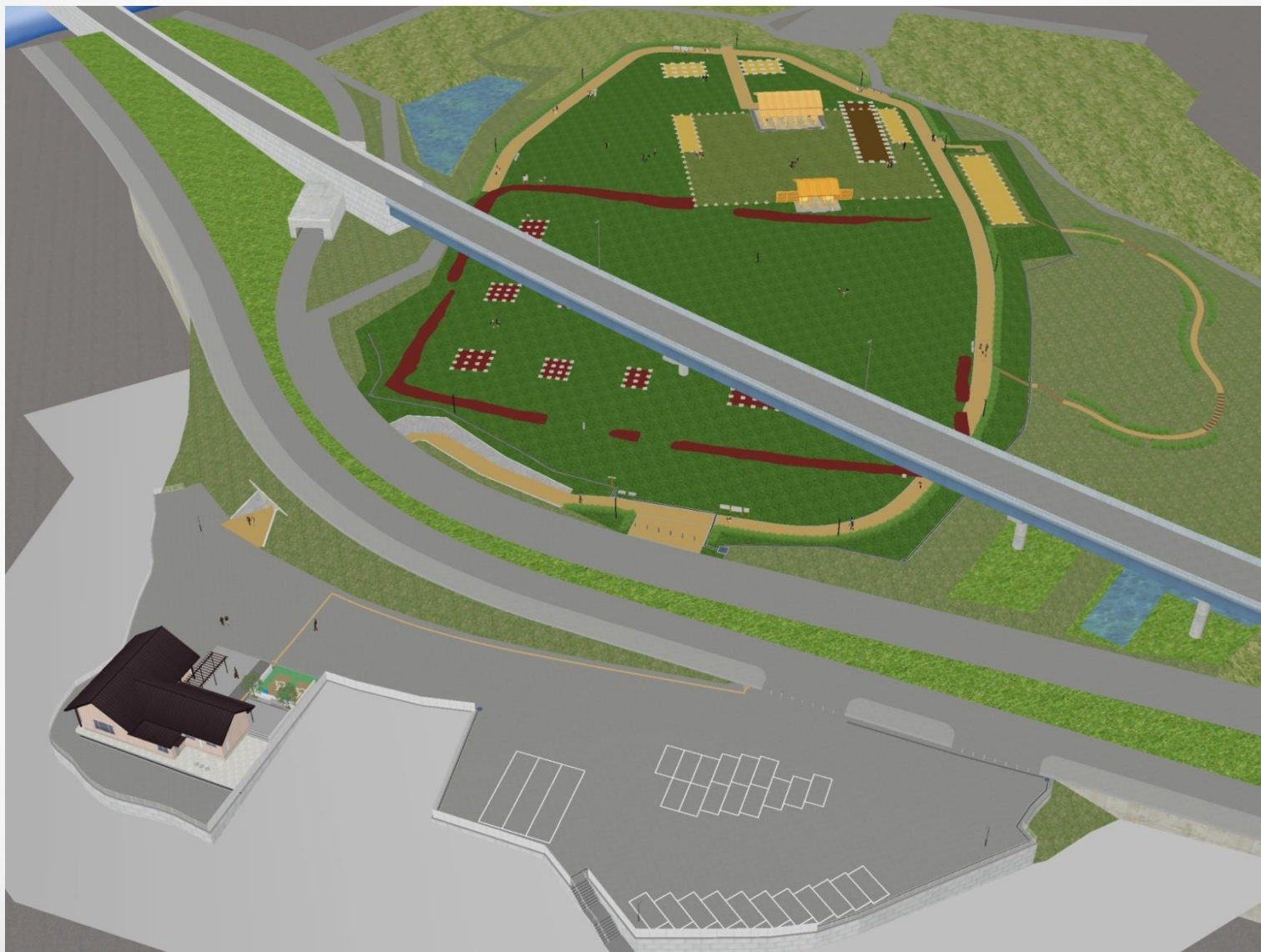
平成29年11月25日

「壬申の乱と齋宮」

久留倍官衙遺跡の意義とその整備

四日市市教育委員会 社会教育課
課付主幹（学芸員） 葛山拓也

久留倍官衙遺跡公園 整備イメージ



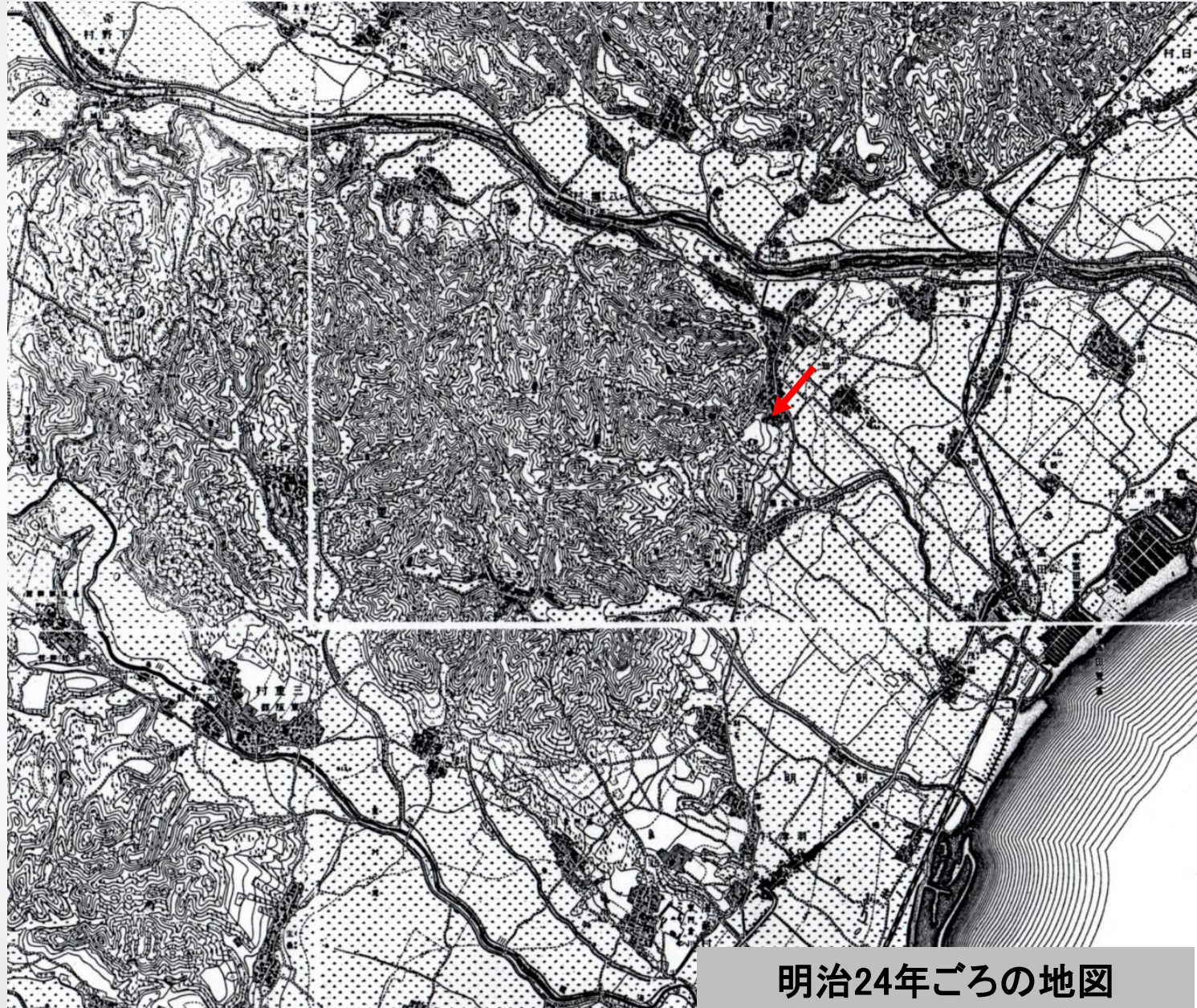
久留倍官衙遺跡の位置



○所在地

四日市市大矢知町字久留倍・字矢内谷(やないだに)
垂坂丘陵の東端、丘陵端から東向き斜面に立地

久留倍官衙遺跡の位置



明治24年ごろの地図


久留倍遺跡の保存=国指定史跡「久留倍官衙遺跡」

- ▶ 名称 久留倍官衙遺跡
- ▶ 種別 史跡
- ▶ 所在地 四日市市大矢知町字久留倍、字矢内谷
- ▶ 面積 21,450m²
- ▶ 指定年月日 平成18年（2006）7月28日
- ▶ 指定理由

検出した遺構は大きくⅠ期からⅢ期に分けられ、Ⅰ期は政庁、Ⅱ期は長大な東西棟建物群、Ⅲ期は正倉院と、時期によって異なった構成を示す。Ⅰ期とⅢ期の建物群は東を正面とする特徴をもつ。

官衙の政庁や正倉院等が時期ごとに場所を違って展開するもので、その構造や規模からみて古代伊勢国朝明郡衙である可能性が高い。

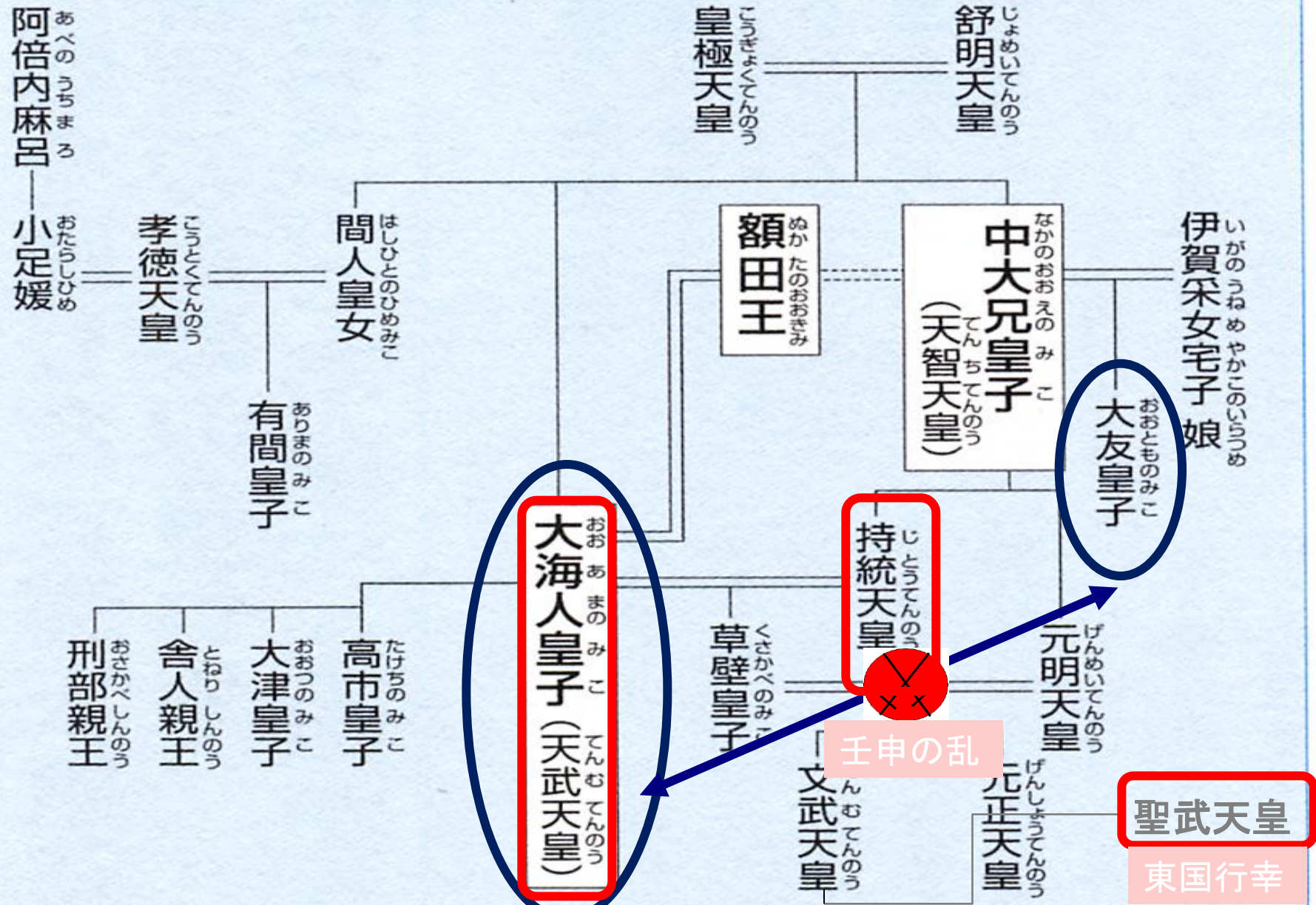
久留倍官衙遺跡は、政庁、正倉院等が明瞭に把握でき、その変遷が判明する点で貴重である。また、古代国家の地方支配体制の成立、展開過程における官衙の在り方を具体的に示すものとして極めて貴重である。

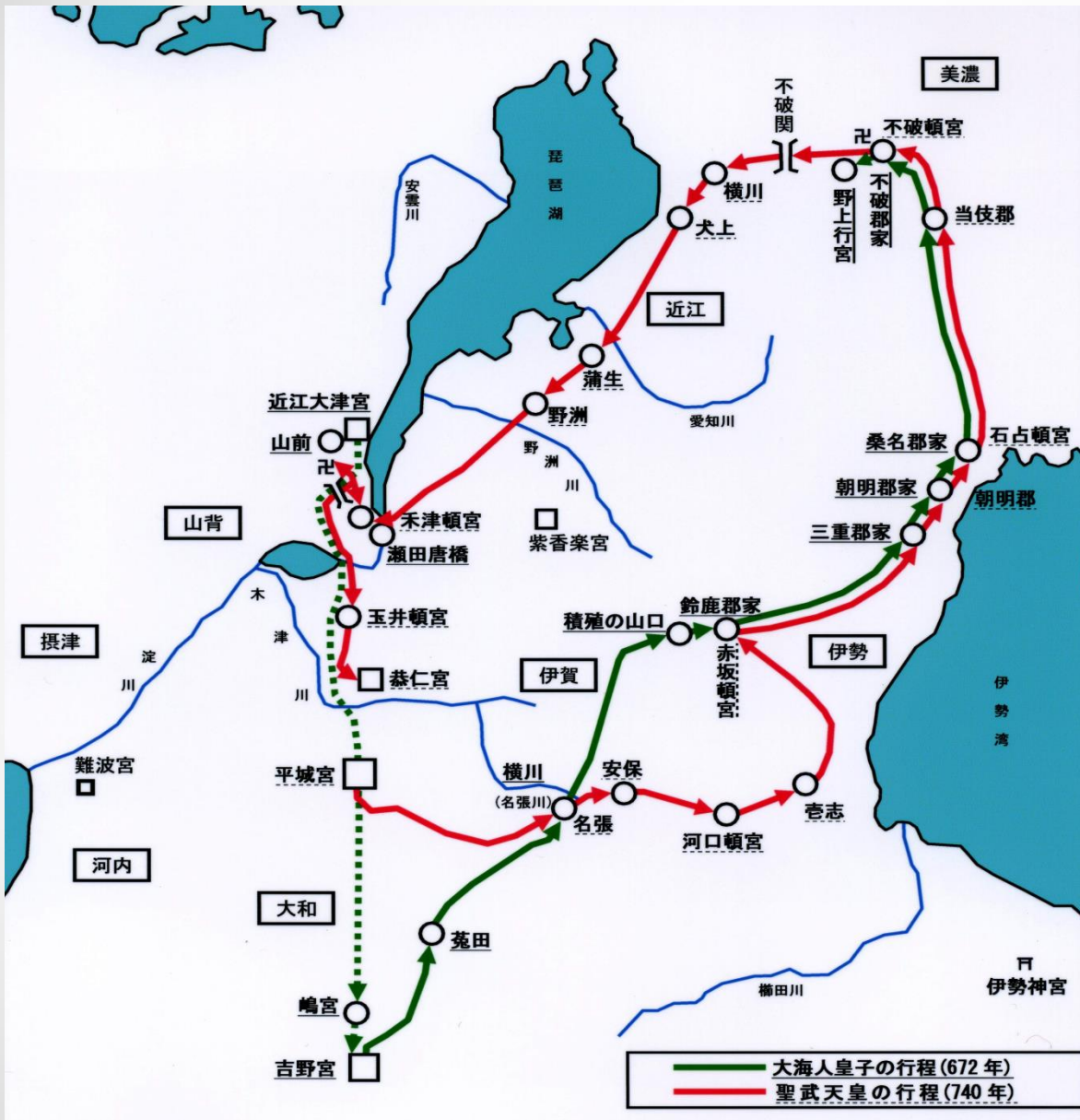


政庁（Ⅰ期）

正倉院（Ⅲ期）

朝明郡に来た3人の天皇(□ の天皇)





壬申の乱
(672年)
※緑のルート

東国行幸
(740年)
※赤のルート

迹太川御遥拝のイメージ



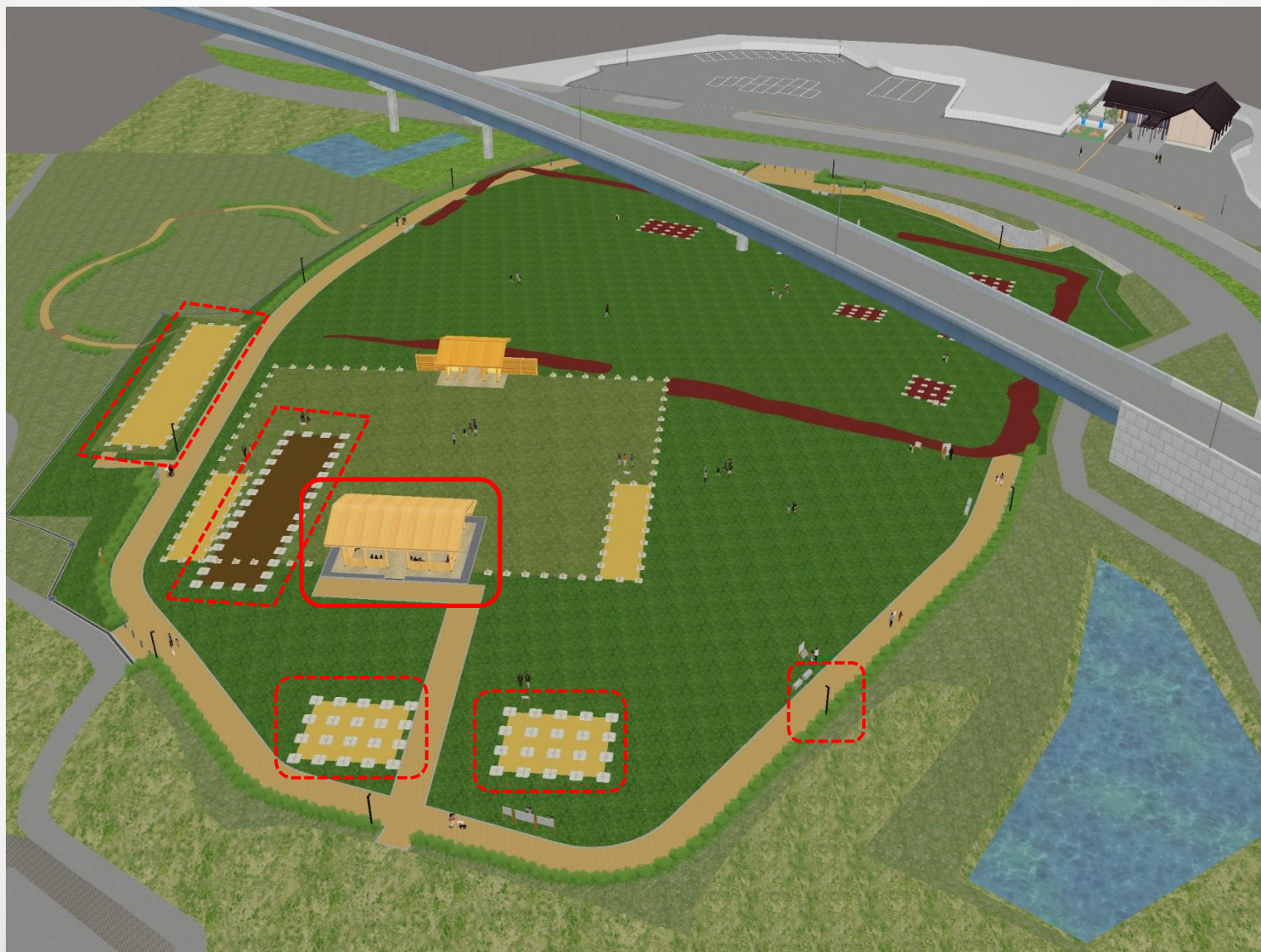
(展示パネルより)

聖武天皇行幸のイメージ



(展示パネルより)

平成29年度の整備（公園側）

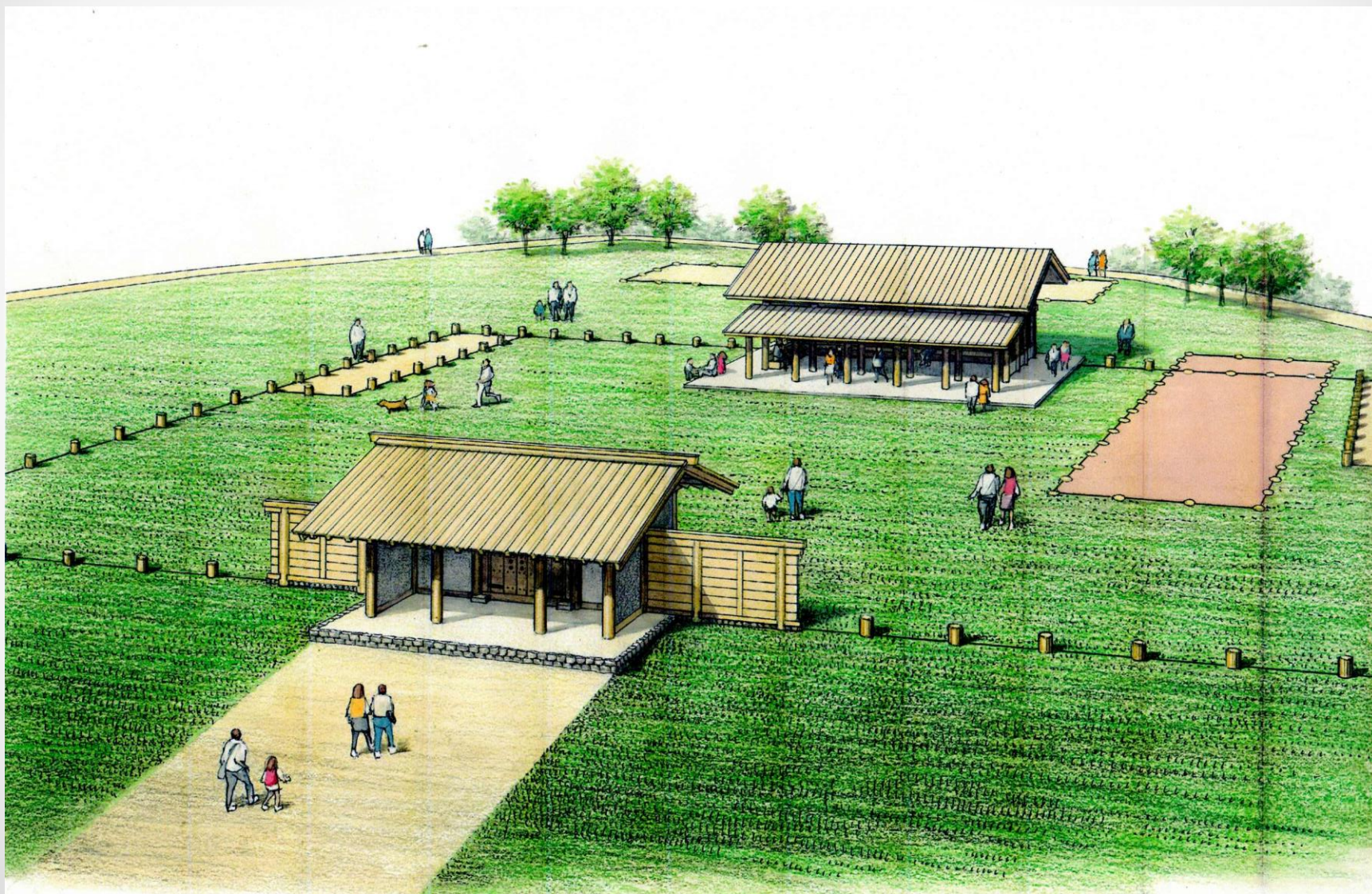


整備の状況

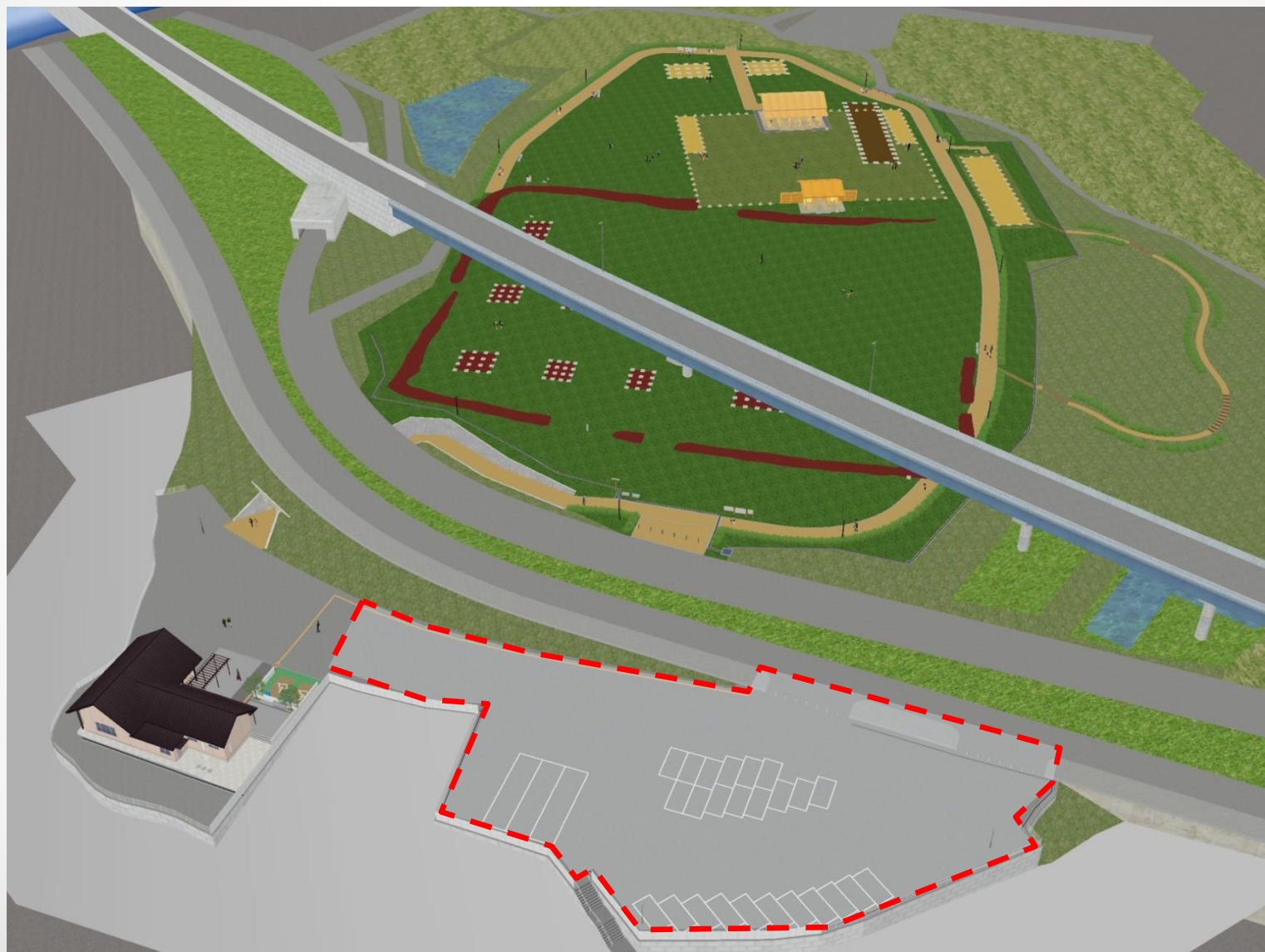


正殿立体表示(休憩所)

整備の状況



平成29年度の整備（エントランス側）



整備の状況



ガイダンス施設「くるべ古代歴史館」

くるべ古代歴史館



ホール

利活用計画

- 利活用メニュー（例）

歴史体験・・・木簡体験、古代衣装体験等

古代の遊び・・・けまり、すごろく等

イベント・・・久留倍遺跡まつり

大海人皇子遥拝及び聖武天皇行幸にちなんだイベント

七夕、写生大会、市等

学習会・・・講演会、講座

利活用計画

- 学習プログラム

『小中学校における』作成、配付

小学校・中学校等、社会科・総合学習
授業に久留倍官衙遺跡を取り入れ

都と地方のつながり

役人の仕事

歴史学習、故郷・地元への愛着

久留倍官衙遺跡公園の課題

- 学術的なこと

遺跡の性格

- 整備のこと

工事の遅れ = オープンの遅れ

- 整備後の利活用のこと

ガイダンス「くるべ古代歴史館」オープン

御清聴ありがとうございました